

市民の風 通信

戦争させない市民の風・北海道

連絡先 〒061-2273 札幌市南区豊滝2丁目9-6 小林方 [電話] 090-2070-4423 [FAX] 011-596-5848
[メール] 1-siminmado@freeml.com [HP] http://市民の風.com

2017年 新春号 (NO. 4)

定価 1部 100円

購読料は賛同金に含みます



川原 茂雄
共同代表

『市民の風・北海道』2017年の決意

であるという予想もありません。政権

昨年末の国会では、TPPだけでなく年金カットやカジノ法案まで強行採決するという、とどまるところを知らない安倍政権の暴走でしたが、今年こそは、なんとしてでも私たち市民の力でSTOPをかけなければなりません。そのためにはまず、来るべき衆議院議員選挙において、市民と野党の共闘による統一候補者が擁立され、一人でも多く当選することが必要です。

ここ北海道では12の選挙区がありますが、この全ての選挙区で、市民と野党の共闘による統一候補者が実現するならば8～10名の当選が可能

選択がかかった衆議院総選挙での市民と野党の共闘は、そう簡単ではありませんが、野党がバラバラのままでは、いまの安倍政権の暴走を止めることは困難です。

いまこそ、安保法制の廃止と立憲主義と民主主義の回復を願う市民が、声を上げ行動を起こすことによって、市民と野党の共闘による統一候補実現へのアクションを起こす時です。

政党間の交渉による共闘成立を待つのではなく、いま必要なのは、その前に市民と野党が一緒になって共同行動に取り組み、政策協議をすすめていくことによって、市民と野党の共闘合意を形成していくことです。

私たち市民の力で、政治を変えていきましょう。

安倍政権の暴走を止めるための市民と野党の共闘合意にむけての提案

2016年12月21日 市民の風・北海道

「安倍政権の暴走を止めるための市民と野党の共闘合意にむけての提案」です。この提案は事務局会議で検討し、この方向で取り組むことを市民の風として確認したものです。

- ・安倍政権の暴走を止めて、憲法改悪の企みを阻止するために、来るべき衆議院選挙では立憲野党の議員が国会の議席の三分の一以上を占めることを目指す。
- ・そのためには来るべき衆議院選挙で、市民と野党の共闘による統一候補者を擁立し、北海道12の選挙区で一人でも多くの立候補者の勝利を目指す。
- ・市民と野党の共闘による統一候補者の実現のために、北海道12の選挙区すべてにおいて、安倍政権の暴走を止めるための市民と野党の共闘合意の形成を目指す。
- ・安倍政権の暴走を止めるための市民と野党の共闘合意の形成のために、北海道12の選挙区すべてで、市民と野党の共同行動と政策協議をすすめるための組織（市民と野党の共闘を求める〇区の会）を結成していく。
- ・安倍政権の暴走を止めるための市民と野党の共闘合意の形成のために、北海道12の選挙区すべてで、市民と野党および立候補予定者との間で、一緒に取り組めるものについては共同行動（集会・シンポ・語る会・街宣・スタンディング等）をおこなっていく。
- ・安倍政権の暴走を止めるための市民と野党の共闘合意の形成のために、北海道12の選挙区すべてで、市民と野党および立候補予定者との間での政策協議をすすめ、一致できる政策については政策合意をはかっていく。
- ・安倍政権の暴走を止めるために、北海道12の選挙区において、市民と野党の共闘合意にもとづいて統一候補者の擁立が実現できた場合は、市民と野党と統一候補者との間で、衆議院選挙を一緒に闘うための共闘協定・政策協定を結んでいく。

市民と野党の共同で安倍政権の暴走を止めよう！

ひとまかせ 他人任せはいけない



市民が変える×政治を変える

12.17 緊急シンポ 230名が参加

12月17日に札幌市の自治労会館で『緊急シンポジウム 市民が変える×政治を変える 市民と野党の共同で安倍政権の暴走を止めよう！』（主催：市民の風・北海道、医療九条の会・北海道、市民連合北広島）が開かれました。土曜日の午後、しかも雪道の中で参加者数が心配でしたが、後からこられた方は立っての参加となる230名を超える方が参加しました。

ゲストは市民連合（元SEALDs）の諏訪原健さん、弁護士であすわか共同代表の神保大地さん、政

からはシンポジストの荒井さとし衆議院議員（民進党）と畠山和也衆議院議員（共産党）。会場には民進党から松木謙公衆議院議員、池田まき5区候補予定者、共産党からは金倉昌俊2区候補予定者、川部竜二3区候補予定者も参加されました。

2区と3区は野党候補予定者のそろい踏みでしたが、3区の川部さんからは「私が闘う相手は荒井さんではない。安倍自民党政権だ」との強い宣言。参加された皆さんから熱い拍手がありました。



諏訪原健さん
市民連合/元SEALDs

民進党も色々あったが「野党共闘はあたり前」になってきたと思う。これから考えなければならないのは政策協定または要望で、政策調整が必要だと思う。

これまでは安保法制の廃止、立憲主義回復が大前提だったが、政権選択の選挙では、これだけのまとめ

では駄目で、勝つためには野党は魅力的でなければならない。

街頭宣伝だけではなくて野党が集まっての「政策プレゼンテーション」など発信力があるイベントが必要ではないかと思っている。

市民に選挙に関わってもらうためには、選挙運動には「こういうメニューがあって、こういうことをしています」と、きちんと知らせること。そのための準備が大事だと思う。新しく参加してくる人たちを大切にしよう。

5区補選は対立構造がはっきりしていたので、政党が候補者を一本化すると思っていた。しかし時間が立っても政党は動かなかった。

何かをしなければならぬと思ってユニキタ、ママの会、諏訪原さんたちに協力を求めて街宣をやった。「人任せはいけない。自分の判断で動くことが重要」だとわかった。東京で開かれた市民連合の会議に出てきたが、三重から「小選挙区ごとに活動しよう」という報告があった。北海道は「5区補選の経験あり、やれば勝てる」という強

みがある。「自分の選挙区は自分が主体だという意識」が大切だと思う。

選挙は「キャンペーン・祭りだ」との発言も印象的だった。選挙は一部の特殊な人だけでなく、みんなですることが大切。

5区補選の時にはそういう印象があった。



神保大地さん
弁護士/あすわか共同代表

上田文雄前札幌市長の1期目再選挙の時に共産党は告示3日目に選挙看板から共産党候補者のポスターを外した。私が当時の児玉健次衆議院議員を通して内々要請していたことだが、共産党はやると言ったことは本当にやってくれる。



荒井さとしさん
衆議院議員(民進党)

5区の補欠選挙の時に今度は上田さん自身が候補者一本化に関わった。札幌・北海道には共闘の実績がある。

5区補選は共闘成立が目的だった。しかし、今はそこから進んで共闘は手段になっている。知事選挙のときに新潟に行ってきたが、選挙事務所のお母さんたちが楽しそうに電話がけをしながら手応えがあるといていた。



畠山和也さん
衆議院議員(共産党)

共闘したら結果が出ることを参議院選挙でわかってきたからエネルギーに満ちていた。市民と野党の今日のような場の積み上げが大切だと思う。



松木謙公さん
衆議院議員(民進党)

国会でカジノ法案が採決されたが議員立法で強行採決されたのは初めて。こんなことが許されるのなら何でもありになる。民進党・共産党・社民党・自由党が市民の皆さんと一緒に闘って自民・公明連合に選挙で勝つしかない。

(写真左から) 共産党の候補予定者である2区の金倉昌俊さん、3区の川部竜二さんも参加しました。荒井議員、畠山議員と4人でガッチリ握手です。



「誰ひとりおいてきぼりにしない」が変わらない私の信念。「今で良いとは思っていない人」「少しは変えたいと思っている人」と、どう繋がっていくかが大切。そのためには「どんな小さなことでも市民の声を聴いてくれる政治家」を目指したいし、そういう政党を創っていききたいと思う。



池田まきさん
5区候補予定者(民進党)

散歩途中にポスティングをしてくれる人、早朝街宣と一緒に並んでくれる人、政党の看板にもかかわらず立ててくれる人・・・5区では市民との共同活動が始まっている。千歳市で後援会ができたが、共産党の市議会議員から「市民の統一候補として運動していこう」のガンバロウがあった。小さな町にも政党とは関係ない小グループの後援会ができつつある。

次の衆議院選挙は民主主義を問われる闘い。精一杯頑張る。

5 区 (札幌市厚別区・石狩管内)

既に実質上の統一候補予定者になっているイケマキさんは毎日早朝からJR駅などで「いってらっしゃい・お早うございます」行動からスタート。一日中元氣一杯フル回転です。

11月12日には北広島市で政経セミナー、23日には市民連合北広島主催のシンポジウム、12月末には民進党機関誌の号外の配布、立看板も急ピッチです。



〒004-0052
札幌市厚別区厚別中央
2条3丁目7-7
イケマキ「厚別の拠点」
民進党・厚別連絡所開設

拡散希望

道内各地で「市民と野党の共闘を求める会」誕生の動きが急速に広がっています。
北海道12選挙区すべてに「市民と野党の共同・共闘」運動を拡散しましょう。

各選挙区で広がる『市民と野党の共同・共闘』

1 区（札幌市中央・南・西区）

10月22日に南区、29日に中央区、11月5日に西区と行政区ごとに会議を積み重ね、11月19日に「市民と野党の共闘を求める1区の会」を設立しました。当面は会員と賛同者を募り、1区での野党共闘と候補の一本化のために取り組んでいくことを確認しています。

【「1区の会」新年の予定】

○1月3日（火）初春リレートーク
13:00～ 札幌・大通西3丁目

○1月9日（月）
野党各党の予定候補に聞く会
14:00～ 札幌・エルプラザ
（主催：中央区部会）



2 区（札幌市北・東区）

12月21日、「市民と野党の共闘を求める2区の会」のキックオフ集会と市民トークがエルプラザ・ホールで130名の参加で開かれました。2区の会設立を確認した後、川原茂雄市民の風・共同代表から基調講演。

その後、4名の市民からトーク（福島原発自主避難者の思いを語った本田さんの話には会場が静まり返りました）があり、来場された社民党の諸岡廣志さん、市民ネットの佐藤典子さん、共産党の金倉昌俊さん、民進党の松木謙公さんから、「安倍政権の暴走を止めるには野党の共同行動・

共闘しかない」という熱い気持ちと意思が語られ、4名が固く握手を交わしました。また自由党の山本太郎さんからのメッセージの朗読がありました。



3 区（札幌市白石・豊平・清田区）

「市民と野党の共同候補を求める3区市民連合」として、野党の候補予定者である荒井さとし衆議院議員（民進党）と川部竜二候補予定者（共産党）に公開質問を求める行動などを行っています。

11月22日に「清田区の集い」を開きましたが、行政区ごとの集まりを重ねていきます。

4 区（札幌市手稲区・後志管内）

12月23日に「市民と野党の共闘を求める手稲区民の会」が設立しました。大吹雪きでしたが準備した資料が不足する約80名の方が参加しました。



4区の候補予定者である本多平直（民進党）さんと佐々木あけみ（共産党）さんも参加・挨拶し、記念講演講師の結城洋一郎市民の風・共同代表とがっちり握手。手稲区では毎月3日と19日にJR手稲駅で様々な団体がスタンディングやリレートークをしています、この積み重ねからの誕生です。小樽市でも18日に「叶えよう！野党共闘」の講演会を



開催。1月には「会」の結成を予定しています。講演会後は講師を囲んで手稲からの参加者も含めた懇親会をしました。

7 区（釧路・根室管内）

11月9日に「戦争させない!9条壊すな!釧路行動実行委員会」主催の市民集会在釧路市で開かれ、結城洋一郎市民の風・共同代表と小林事務局長が参加。翌日は社民党、民進党、共産党、新社会党を訪問し野党共闘についての意見交換をしました。

9 区（胆振・日高管内）

11月23日に室蘭で上田文雄市民の風・共同代表を迎え『市民と野党の共同で変えよう！日本の政治』の集いが「戦争させない！西いぶりの会」主催で開かれました。



10 区（空知・留萌管内）

12月19日に10区の野党統一候補を実現させるため、まず「南空知戦争させない市民の風・北海道」を岩見沢・長沼・由仁・栗山の仲間で結成しました。

12 区（オホーツク・宗谷管内）

11月20日に「戦争をさせない遠軽町民の会」が川茂雄市民の風・共同代表の『憲法出前授業』を開きました。12区においても野党共闘に向けて具体的な取り組みを検討しています。